

リレー
随想
249幻
の
酒
と
人飯野孝
信(車場5)

お正月ですので酒のお話をいたしましょう。私は中頸城の三和村M酒造場に幻の酒「S」を求めて訪れました。上越インターで降り、丘陵地の溜池のほとりに車を止めて、ひと休みをしました。

蔵かげに美しい、白のはたるぶくろの花群れを見つけてきました。花は、ほっこりという感じで咲いていました。折からの霧雨の中、辺

りに灯をともしているかのように見えました。

ようやく、幻の酒の名の看板を横につけた酒倉を見つけた時は、はっとしました。M酒造場は、茅葺きの母屋・古い庭・格子戸の蔵

場と今迄、私が訪れた大企業

の酒造会社の感じとは違う落ち着いた雰囲気です。昔からの手造りの酒造りという

感触でした。派手でなく、控え目な感じを受け取りました。

しんと静まり、人影もなく、ただ、酒倉の横に裏山から引いている幻の酒「S」の命とも言える清水が、しだの葉にかこまれた石の水

溜めに落ちる音だけでした。大声で案内を請うと、奥の方から、

「はい、只今まいります。」という声とともに、白いレースの半袖とフレアースカート

の中年の方が出て来られました。

私の訪問の目的を優しくまなざしで聞かれ、「遠い所からお出かけくださいましたが、只今、従業員は慰安旅行に出ています。ご存じと思いますが、日本酒

は夏は桶で眠らせております。また、私どもの酒に幻などとお付けになっておりますが、ただ昔からの手法で造り、地方の方々を中心

に販売いたしており、貴方様のよう

に当方にお出かけくださいまして、お分けできないのでございます。お許しくださいと、きちんと正座されての口上、礼をされた姿は、まさに剣道の礼法でした。それに、なんと美しい日本語だったでしょう。

白いはたるぶくろの花のように静かで、美しい人に会えたのも、幻だったのでしょうか。

※飯野孝は、平成四年度市民文芸祭随筆の部で、奨励賞を受賞されています。

このバトンを金沢町1の本望みはるさんにリレーします。本望さんは、新潟日報文学賞の詩作部門で活躍しています。



花の里情報

花き総合センターでは、一月三日(日)から春を呼ぶ新春の鉢花を展示・即売します。地元の花作り農家が生産した新潟市特産の花木、鉢植えなどがたくさん用意されています。

□開設時間：1月3日(日)からで、時間は午前9時、午後5時(日曜日、祝日も開設しています)。

石油の里情報

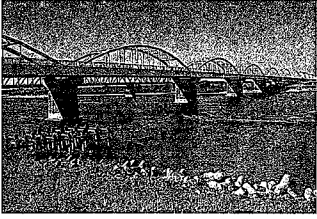
石油の世界館では、「種刈コレクション」現代絵画展を開催しています。

□開催期間：2月14日(日)まで

□入館料：一般250円、中学生150円、小学生100円(冬期割引料金)

※石油の世界館と観光物産館は、一月五日(火)から開館いたします。

宝さがし②⑥



阿賀野川の堤防から見える風景

□堤防に登ると、とても広い景色が広がっています。大きな阿賀野川が流れていて、遠くに高い山も見えます。船が砂利を運んでくるのを見えます。近くに長い鉄橋もあります。僕は、この鉄橋の上を大きな音をたてながら近づいてくる電車を見るのが大好きで、一番かっこいいと思います。

紹介者 風間俊哉くん(中新田)

□阿賀浦橋から見た川と五頭山の風景、近くに住んでいるのでよく家族といっしょに見にいきます。四季おりおりの素晴らしい風景です。この景観をいつまでも残しておきたいものです。

紹介者 昆 隆太くんとご家族(中新田)

新津市の人口

男	31,788	(+ 18)	11月30日現在 ()内は前月比
女	34,160	(+ 3)	
計	65,948	(+ 21)	
世帯数	18,466	(+ 31)	
11月中の動き			
出生	39	死亡	38
転入	143	転出	123
結婚	48	離婚	4

お買物、ご用命は市内で

新年のごあいさつを申し上げます

ことしよろしくお願い致します。

コーヒー祭り 100g 280円
1月は8日(金)、9日(土)、10日(日)の3日間



ケーキとコーヒーの店

お・サ・カ・マ

本町2 ☎22-0112

